



保険料の納付に 便利な「口座振替」と割引がある「前納」

国民年金の保険料を納付期限までに納めていないと「老齢基礎年金の受給額が低くなる」「年金そのものを受けられなくなる」などの恐れがあります。納め忘れのないように「口座振替」や「前納」をご利用ください。

■便利で確実な「口座振替」

口座振替にすれば、指定の口座から毎月自動的に保険料が引き落とされます（原則として、納付対象月の翌月末日）。一度手続きをすると、毎月金融機関などに出向く必要もなく、納め忘れありません。

■割引がある「前納」と「早割」

保険料をまとめて前納（6カ月分、1年分、2年分など）すると、割引になります。口座振替で前納すると、さらに有利な割引になります。現金払いの場合には、6カ月、1年以外でも、希望月から翌年3月までの前納も可能です。また、月々の保険料を「口座振替の早割」で1カ月早めに納付すると、年間600円の割引になります。

<参考>令和元年度割引比較表

		1回あたりの 納付額	割引額	2年分に換算した 割引額	振替日
翌月末振替		16,410円	なし	なし	翌月末
当月末振替(早割)		16,360円	50円	1,200円	毎月月末
6カ月前納	現金納付	97,660円	800円	3,200円	—
	口座振替	97,340円	1,120円	4,480円	4月末 10月末
1年前納	現金納付	193,420円	3,500円	7,000円	—
	口座振替	192,790円	4,130円	8,260円	4月末
2年前納	現金納付	380,880円	14,520円	—	—
	口座振替	379,640円	15,760円	—	4月末

※月末が休日の場合は、翌営業日が振替日または納付期限となります。

■令和2年度の前納(口座振替)の申し込みは、2月末まで

前納(口座振替)の申し込みには期限があります。希望する場合は、期限までに役場住民課窓口もしくは熊本西年金事務所手続きしてください(手続きには金融機関への届出印と引き落とし口座の通帳が必要です)。

前 納 期 間	申 込 期 限
令和2年度(1年分)	2月28日(金)
令和2年度・令和3年度(2年分)	2月28日(金)
令和2年度(前期:4月～9月分)	2月28日(金)
令和2年度(後期:10月～翌年3月分)	8月31日(月)

■問い合わせ 役場住民課 住民係 ☎096(293)3112
熊本西年金事務所 ☎096(355)3261

こども医療費の抑制にご協力ください

●問い合わせ 役場健康保険課 国保・医療係 ☎096(293)3114

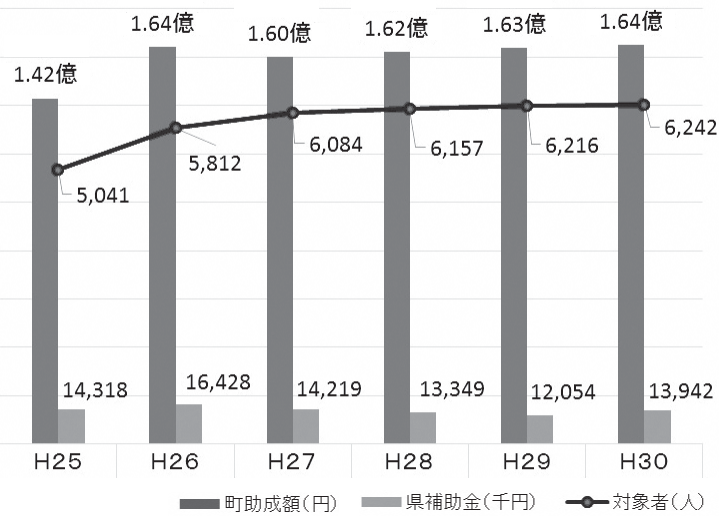
こども医療費は、こどもの健康保持と健全な育成を図る目的で、0歳から中学校3年生までの医療費を町が助成する制度です。



その費用は、県からの補助金が1割程度で、ほとんどを町税で賄っています。医療技術の進歩などにより、助成金額は年々増え続けており、町ではこどもの人口が増加しているため、今後も増加することが予想されます。

医療費を抑制するため、適正な受診にご協力をお願いします。

大津町こども医療費の推移



《医療費を抑制するためにできること》

①不要な重複受診(はしご受診)をやめましょう

同じ病気で、複数の医療機関にかかる重複受診はやめましょう。同じ医療機関にかかれば、「再診料」で済みますが、他の医療機関を受診するとその都度高い「初診料」が発生します。医療費が増加するばかりではなく、検査や薬の重複などで身体に負担がかかり、副作用も心配されます。

②コンビニ受診をやめましょう

コンビニ受診とは、一般的に外来診療をしていない休日や夜間の時間帯に救急外来を軽症患者が受診することです。休日や夜間に開いている救急医療機関は、緊急性の高い患者さんのためのもので、医療費も高く設定されています。緊急時以外は、日中の診療時間内に受診しましょう。



③ジェネリック医薬品を活用しましょう

ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは新薬(先発医薬品)の特許期間満了後に、同等の品質・効き目・安全性で製造販売される低価格の薬です。医師や薬剤師と相談し、積極的に活用しましょう。



④こども医療でんわ相談(#8000)を利用しましょう

休日や夜間にこどもの症状にどのように対処したらよいか、病院を受診した方がよいかなど、判断に困った時に、相談員(看護師など)に電話で相談できるものです。

●受付時間

- ・平日 午後7時～翌朝8時
- ・土曜日 午後3時～翌朝8時
- ・日・祝日 午前8時～翌朝8時

●電話番号

#8000
※ダイヤル回線、IP電話、光電話の場合
☎096(364)9999



⑤予防接種を受けましょう

感染症からこどもを守るとともに、かかった場合も軽症化させる効果が期待できます。

⑥風邪やインフルエンザを予防しましょう

- ・外から帰ったら、手洗い・うがいをしましょう
- ・人ごみを避けましょう
- ・十分な睡眠、バランスの良い食事を取り、抵抗力をつけましょう